

2001年1月15日発行
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西1-15-9
tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771
e-mail. hoshiba@ain.co.jp
発行責任者 干場貫二

初夢

院長 干場貫二

皆様、明けましておめでとうございます。ついに21世紀に突入しました。毎年正月は新たな気分になるものですが、今年は格別なのではないでしょうか。何かこの新鮮な気持ちが形になるといいですね。

さて、皆さんはどのようにお正月を過ごされたでしょうか。ちょっとリッチに海外で年を越された方も

おられるでしょうし、実家に戻られた方もおられるでしょう。どこで過ごされたにしても初夢は気になるものです。良い夢だった方は正夢になるように、そうでない方はすっかり忘れて今年も頑張らしましょう。



歯科の専門科について

「ほしば歯科医院」では分類がありませんが、歯科といってもいくつかの専門科があります。歯科の大学病院に行った経験がある方はご存知だと思いますが、かなりの数に分類されています。そこで今回は、歯科の専門科の種類についてご紹介していきます。

歯科の中には主要3科というものが、「歯科保存科」、「歯科補綴（ほてつ）科」、そして「歯科口腔外科」です。歯科保存科というのは、いわゆる歯の神経の処置や削ったあとに金属やプラスチックをつめる所です。分類によっては歯周病（歯槽膿漏）の処置もこの保存科に含まれます。一番聞きなれないのが歯科補綴科という所でしょうが、入れ歯やブリッジ、噛み合わせの専門科です。その他にも、最近多くなってきている顎関節症の処置などを行っています。歯科口腔外科は一般の開業医の看板でも見られるようになりましたので、皆さんも見覚えがあるのではないのでしょうか。簡単な所では歯を抜くことや口内炎の処置、大学病院では口の周囲に発生したガン（顎ガンや舌ガンなど）の処置などを

行なっています。

その他にもいくつかの科があります。歯科矯正科はみなさんご存知のように歯の矯正を行なっていく所です。小児歯科や高齢者歯科は年齢によって区分されています。また、めずらしい所では歯科麻酔科や歯科放射線科というものもあります。特殊科の中には歯科インプラント科や障害者歯科というものもあります。

本当に多くの科が存在しますが、「ほしば歯科医院」でもほとんどのことが出来ます。干場は口腔外科、五島は補綴科出身です。森はもちろん歯科矯正のスペシャリストです。当院にはお子様から高齢の方まで来られますし、障害者の方もおられます。大学病院のような特殊性はないにしても、幅広いニーズにこたえられる診療室でありたいと思います。

在宅診療部より

代表 五島朋幸

在宅ケアにおける口腔ケア（口の中の清掃）の必要性が広く知られるようになりました。とは言え、社会的に浸透しているとはとても言いがたい状況でもあります。私たちのように、訪問歯科診療を行なうものが今後とも社会に向けてアピールしていかななくてはならないと考えています。

このような現状の中、昨年、看護婦向けの雑誌2誌に口腔ケアに関する記事を掲載してもらいました。もしご興味がある方は別刷をお分け致しますので受付までお申し出下さい。もちろん無料です。

- ・「重要性を増す在宅口腔ケア」
ナーシング・トゥデイ9月号、10月号
- ・「在宅ケアの口腔ケア」
コミュニティケア11月号、12月号

また、口腔ケアについての知識は、身内に寝たきりの人がいたり、医療職の方だけが知っておく知識ではありません。多くの方が知識として知っておくことが必要です。今後も紙面を借りて解説していこうと思っています。

患者さんのお話

前回はアマチュアのすごい方を紹介させていただきました。今回はプロフェッショナルのすごい方ご紹介させていただきます。

最近診療室に来ていただき、最も顔が知られていると言えば関取の蒼樹山(あおぎやま)関でしょう。診療室に手形とサインの色紙があるのはお気づきでしたか？

平成 11 年の九州場所で大ケガをしてしまい、現



在は十両十枚目ですが、もともとは幕内を 30 場所以上つとめた力士です。今年はケガも癒えて巻き返しの年となるでしょう。今から楽しみです。

皆さんもぜひ応援して下さいね。

診療のお話

保険と自費の違い 1

歯科診療は医科と違い、いわゆる健康保険で行なう「保険診療」とそれに束縛されない「自費診療」が選べるシステムになっています。この違いについていくつか知っておいて頂きたいことがあります。重要なことですのでぜひ覚えておいて下さい。

この二つの診療の最も大きな差は材料の差ということになるのでしょうか。歯科の診療の多くは金属やプラスチックを詰めたり、入れ歯を入れたりするという処置で終了します。保険診療ではこの時の材料に規制があります。例えば、前歯の処置をした後、審美的に優れている陶材(いわゆるセラミック)を使用することは出来ません。また、薄くて強度のある金属を用いた入れ歯も保険診療では使用できません。その他にも奥歯に白い歯を入れることや金(ゴールド)を使った冠を入れること、また歯科矯正も自費診療でないと出来ません。

だからと言って保険診療ではだめかと言うとそんなことはありません。材質的には劣っても機能させることは十分に可能です。よく、医療裁判などで「何も言わずに削られた後、高額を支払いを請求された」などという話を聞いたことがあります。当院では必ず納得をしていただいた上で自費診療を進めております。それぞれの治療に関してどちらが良いかを担当医とよくご相談なさして下さい。

次回は、保険診療と自費診療の具体的な違いを説明していきます。

講演会のお知らせ

五島が所属している「生と死を考える会」では、以下の日程で柳田邦男氏(ノンフィクション作家)の講演会を行ないます。ご希望の方があればチケットを販売致しますのでお申し付け下さい。

「語ることと生きること」

講師 柳田邦男氏(ノンフィクション作家)

日時 2001年2月4日(日)

場所 星陵会館ホール(都立日比谷高校高校横)

定員 400名

入場整理券 2000円

ご意見はこちら

ほしは歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファックス 03-3877-7771(院長直通)

e-mail hoshiba@ain.co.jp(干場)

tomogoto@ra2.so-net.ne.jp

(在宅診療部;五島)

編集後記

さあ 21 世紀です。毎日の生活が変わるわけではありませんが、どこか新鮮な気分にもなるものです。僕はこの気分を利用して大きな目標でも立ててみようかと思っています。皆さんはどのように新世紀を受け止められましたか? でもお互い無理をしないようにしましょうね。

コラム

養生

最近、貝原益軒の「養生訓」がブームなのをご存知ですか。医学が発達し、薬が多く出まわる現代に必要な書物かもしれませんね。